

第25回

関東中学生空手道選手権大会

審判・監督会議資料

競技会場：埼玉県立武道館
埼玉県上尾市日の出 4 丁目 1877 番地

審判会議:10月15日(土)10:30～、16日(日)9:00～

会場:第 1.2 会議室

監督会議:10月15日(土)11:00～、16日(日)9:10～ 会場:主道場

審判の先生方へお願い

マイ旗・手袋をお持ちの方は、ご持参ください。※旗、ビニール手袋は、こちらでも準備しています。

マスクは白の不織布マスクを着用ください。個人でできる感染防止対策を順守してください。

貴重品は審判控室には置かず、個人管理をお願いします。

【連絡】

選手・監督、審判員は、両日ともに開始式前の入場を行います。

審判員は審判団の列にお並びください。(特に指定はありませんが2列)

監督は選手の後ろにお並びください。

15日 12:00 選手・監督、審判員は第一道場に集合

16日 9:20 選手・監督、審判員は第一道場に集合

1. 競技日程

| 大会 1 日目【15 日】 | | 大会 2 日目【16 日】 | |
|---------------|--------|---------------|--------|
| 審判会議 | 10:30～ | 審判会議 | 9:00～ |
| 監督会議 | 11:00～ | 監督会議 | 9:10～ |
| 開始式 | 12:30～ | 開始式 | 9:40～ |
| 選手入場 競技開始 | 13:10～ | 選手入場 競技開始 | 10:10～ |
| 形競技 | 個人女子 | 組手競技 | 個人女子 |
| 形競技 | 個人男子 | 組手競技 | 個人男子 |
| 形競技 | 団体女子 | 組手競技 | 団体女子 |
| 形競技 | 団体男子 | 組手競技 | 団体男子 |

2. 練習会場

| | | |
|--------------|-----------------|------------|
| 10 月 15 日(土) | 埼玉県立武道館第 1・2 道場 | 9:30～16:00 |
| 10 月 16 日(日) | 埼玉県立武道館第 1・2 道場 | 8:30～15:00 |

3. 競技種目

| | 組手競技 | | 形競技 | |
|----|------|------|-----|-----|
| 男子 | 団体組手 | 個人組手 | 団体形 | 個人形 |
| 女子 | 団体組手 | 個人組手 | 団体形 | 個人形 |

4. 競技規定

(公財)全日本空手道連盟組手競技規定、形競技規定及び、関東中学校空手道連盟申し合わせ事項による。

5. 競技方法

(1)個人組手競技はラウンドロビン方式とする。団体組手はトーナメント制とする。

形競技は得点制とする。(技術面・競技面を含めた得点(1個出し)とする)

(2)団体種目は登録選手5名までの3人制とする。(同一種目1校1チームとする)

なお、団体組手は2名でも参加可能とし、その場合は先詰めとする。

(3)個人競技種目に登録された選手の変更は認めない。

(4)競技場には、競技用マットを使用する。

(5)赤・青帯は、各自持参とする。帯の刺繍について、氏名以外では、学校名・都県連盟名・全日本空手道連盟名のいずれかであることが望ましい。

(6)組手競技について

- ①競技時間は、男女ともに1分30秒のフルタイムとし、勝敗は競技時間内に6ポイント差が生じた場合、競技終了時に得点の多い競技者、先取の取得、判定によって決定する。
- ②予選は4グループに分けてラウンドロビン方式(総当たり戦)で行う。
- ③各グループ上位1位が決勝トーナメントに進出し準決勝・決勝戦を行う。準決勝の敗者2名は3位となる。
- ④安全具は、(公財)全日本空手道連盟検定品を必ず着用する。※高体連検定品は不可とする
ア. 男子組手競技は次の7点
・拳サポーター、ボディプロテクター、ニューメンホーはⅥ・Ⅶが望ましい
・シンガード、インステップガード、ファールカップ、マウスシールド
イ. 女子組手競技は次の6点
・拳サポーター、ボディプロテクター、ニューメンホーはⅥ・Ⅶが望ましい
・シンガード、インステップガード、マウスシールド
- ⑤団体戦について
・団体組手競技の場合は、出場選手分の安全具を用意すること。
※シンガード、インステップガードについては、全空連検定品の白色の製品のみ使用できる。
・オーダー票(エントリーシート)は、招集場所で記入。(勝ち上がり時を除いて)入場後、審判員に提出。
回戦毎にオーダー票を提出する。
・補欠選手は、試合コートに入ることはできない。主道場控え選手用座席で待機する。
- ⑥メディカルシートは入場後競技開始前に各コート審判員に提出。
- ⑦ゼッケンは、全周をしっかりと逢着すること。

(7)形競技について

- ①得点制とする。(技術面・競技面を含めた得点(1個出し)とする)
- ②参加人数により、グループ数を決定します。
- ③1グループあたりの人数は、4~7名とします。
- ④1人ずつ演武します。
- ⑤各グループの上位2名が次のラウンドに進出します。
- ⑥参加人数により形数に変更になる場合もある。
- ⑦帯について
第一ラウンド⇒赤帯
準決勝⇒青帯
メダルマッチ最初の演武者⇒赤、次の演武者⇒青
- ⑧空手競技規定(JKF)の指定形リスト及び全空連得意形リストから選択する。
ア. ROUND1は、(公財)全日本空手道連盟第Ⅰ・Ⅱ指定形とする。
イ. 準決勝・メダルマッチは、これまで使用していない第Ⅰ第Ⅱの指定形及び、全空連得意形リストより選択し、同一形の繰り返しを可とする。同点による再演武は、同一形とする。
- ⑨団体戦について
・補欠選手は、試合コートに入ることはできない。主道場控え選手用座席で待機する。
・形(個人・団体)申告用紙(エントリーシート)は、招集場所で記入。(勝ち上がり時を除いて)
- ⑩メディカルシートは、入場後競技開始前に各コート審判員に提出。
- ⑪ゼッケンは、全周をしっかりと逢着すること。

6. 監督の服装について

監督は、紺または黒のスーツ又はブレザー、ズボン(女性はスカート可、男性はネクタイ)を着用すること。その際、競技役員(審判員)との区別をはかるために、全空連ネクタイ及び全空連エンブレムは着用しないこと。監督は競技場では常にIDカードを首にかけて携帯すること。監督証は、大会本部にて準備し、受付時に配布する。監督は紳士的な態度で競技に臨むこと。携帯電話、カメラ、かばん(ショルダーバック、ウエストポーチ等)の持ち込み不可。プログラム持ち込み可とする。

7. 招集場所：第1道場（1F 半面：畳）

※ 監督・コーチは招集に遅れないように選手に指示をお願いします。

8. 開場時間：10月15日（土）9：00 10月16日（日）8：15

9. 会場使用上の注意

- ・各自靴袋を用意して管理する。
- ・裸足で屋外に出ないようにしてください。
- ・観客席からの応援は拍手のみ、声を出しての応援は禁止。
- ・観客席の指定はありません。間隔をとって座ってください。
- ・荷物による場所取りはしないで下さい。
- ・貴重品の管理は各自をお願いします。（置き引きに注意）